

都議選で自民党歴史的な大敗・安倍政権に審判 解散・総選挙に追い込み、新しい政治への道を

安倍自公政権の暴走政治への審判と東京都政の転換が大争点となった都議会議員選挙で、日本共産党は現有 17 議席を上回る 19 議席へと躍進しました。前回 2013 年に 8 から 17 へ倍増した躍進に続くものです。得票数は 773722 票を獲得、前回より 19 万票増やしました。得票率も前回比 1.17 倍増の 14.73% を獲得、得票数・率ともに前進したのは日本共産党だけです。これに対し自民党は、議長や都議会幹事長が相次いで落選、57 議席から過去最低の 38 議席(2009 年)を大きく下回る 23 議席となる歴史的惨敗を喫し、得票率は前回から 14 割減らしました。共産党候補が当選した選挙区のうち、14 選挙区で自民党現職が落選しました。

志位委員長は「今度ばかりは安倍政権をこらしめたいという気持ちが広がり、怒りとなって渦巻いて自民党の歴史的な大敗という結果が出ました。安倍首相は都民の審判を重く受け止めるべきです」と述べています。

畠山議員が釧路で、紙議員が函館で「日本共産党の前進が政治を変える大きな力」と訴える。

「釧路市演説会」に会場いっぱいの 400 が参加

「政治を変える! 函館女性の集い」総選挙勝利へ決意固める



8 日釧路市の党演説会で訴える畠山議員



8 日函館市での女性のつどいで訴える紙議員

都議選中、連日、日本共産党政党カーに乗車し、各選挙区での訴えを行った畠山議員は、都議選での都民の審判と党躍進の意義を語り、市民と野党の共闘をさらに広げ、総選挙でも必ず勝利しようと訴えました。さらに、安倍暴走政治から地域と国民の暮らしを守るために、暮らしを守って経済を立て直すこと、一次産業の振興を重視する政治、JR 問題など公共交通への国の責任などについての政策を述べました。7 区の石川明美候補も決意表明しています。

函館の女性後援会が開催した「集い」に地域・職場から 124 人が参加。紙議員は都議選での無党派の人たちの後押しや、党と後援会の全国的な支援で自民党に競り勝ったことを報告、「加計疑惑」での党の国会論戦と活動を紹介し、内部文書を裏付ける重要答弁を農水相から引き出したことなど、日本共産党の躍進をつくりだすことが政治を変える力となることを強調しました。8 区の本間勝美候補も決意表明しました。

野党と市民の共闘を北海道中に広げ、安倍政権を打倒!
比例 50 万票・複数議席実現、小選挙区でも議席を

日本共産党国会議員団北海道事務所ニュース No99 2017.7.14
札幌市東区北 12 条東 2 丁目 3-2 ☎011-750-7677 FAX011-750-7678
E-mail: jcphkd@jcphkdbi.gr.jp

日本共産党は唯一、議席・得票・率のいずれも前進へ
2 回連続躍進は 32 年ぶり。次は比例道で 2 議席獲得へ